

「森の中の必要な箇所や、バイパス道路の内日本側と蒲生側に車のナンバーを撮影する監視カメラも置いて欲しいですね。暴走族を取り締まる為にも有効でしょう。」
福田「モニターの監視室が要るじゃないですか。個人情報で問題になるかもれない。」
野口「パチンコ店でもスパーでもカメラはありますよ。それにいろいろ防犯にもなつて女性や、子供連れも安心かもしない。」
西川「誰か、フジバカマを植えようと言つてた方があつた。アゲハチョウのアサギマダラが沢山寄つて来るのが見れるから。」
平野「深坂の管理とは具体的にどんなことをするのですか?」
司会「施設、備品の管理、貸し出し、清掃、ゴミ処理。」
福田「ゴミの管理、この間、弘前市に行つた時、タバコの吸殻が落ちてない。下関市にはタバコのポイ捨て禁止条例があるがと言つたら、どうしてそんな物が必要なのかと不思議な顔をされて恥ずかしかつた。金沢もゴミが無かつた。朝、家の表を掃除している。下関市はマナーが悪い。」
西川「遊歩道を区間を切つてみんなで手入れするようにしながら、道に沿つてい

「野さんの山桜はどうなりました?」
平野「ヤマザクラの実を取つて鉢に植えて置いたら芽を出して、今は葉が落ちてしまっているが、順調に育つている。」
一同「素晴らしい。来年が楽しみですね。」
西川「下関市の環境方針とか、ISO一四〇〇一といふのは何ですか?」
司会「よく分かりませんが、下関市はこの認証を取得しているようです。あまり関係はないと思りますが、組織が環境汚染などを引き起こさない為に、いろいろ気をつけるということではないかと思います。指定管理者の審査の過程で、組織や規則など提出することになるでしょうが、それもISOの認証と関係があると言えばあるでしょう。」
西川「個人情報の保護などは、この頃非常にやかましいので、施設の運営に携わるようになると、それも気をつけないといけないですね。」
司会「深坂の森や施設を管理するメリット、デメリットについてはいかがでしょう。」
福田「管理委託料が入つてくる。全体を管理しているので色々やり易い。いっぱ



座談会メンバー

福富征男（理事長）	上畠政利（副理事長）
西川浩子（専務理事）	福田幸博（理事）
常岡梅男（理事）	平野正（理事）
植野善男（新会員）	城戸哲郎（司会、会員交流部会長、プロジェクトリーダー）
野口周三（広報部長）	

植野「金銭的な損失が出た時、誰が責任を負うのか？」
宅建組合の方では、責任を明確にするため、指定管理者の組織を別にして積極的な賛成者のみが参加する形にした。」

福田「そういう形が必要かも知れない。専従者もいると思う。」

司会「利用者の不便なところは？」

福富「せっかくの施設が十分に生かされて居ない。宣伝不足もあると思う。」

野口「大規模な催しの時には駐車場が不足するのが不便。トイレの数など十分か？」

常岡「お祭りなどの時、深坂には、車が何台位入って居るだろうか？どれ位の規模の催し今までできるだ

いアイデアを出しゃれば名所になる。友の会ならできますよ。なにも難しいことはない。」

植野「まだありますか、後は次の機会にお願いします。」

余談・珍談

F「渋柿の見分け方知つるかね。柿の葉のギザギザがはつきりしているもの。奇麗に真赤に紅葉しているもの。」

N「そうすると柿右衛門の赤は、柿の実の赤ではなく紅葉した葉っぱの色？」

K「え？え！ 紬葉に柿の葉を入れて着色した？」

一同「え？」

U「柿と言えば、小学校の图画の時間に、実が鈴なりの柿の木を描いた。する」と先生から、「そんなに実はならないよ」といわれた。あの時、もし、『いっぱいなつていいねえ、美味しそうだねえ』と言われていれば、きっと絵が好きになつたのに、以来画が嫌いになつてしまつた。

補助金と

ボランティア

自由な精神を美しい深坂の森に添えて残したいのだ。補助金の支給者は補助が公平に支給されたか、有助かつ適正に使用されたかなどを判断したり、疑義を挟まれた時に答弁する為にも書類や窓口での指導振りを残しておく必要があると思われているようだ。その結果、補助金をこれこの団体に支給して各団体はこれこれの活動を行つているなどと、あたかも支給者がボランティ団体を育成維持しているように業績として誇るようになる。他人のふんどしで相撲を取つていうようでどこかおかしい。